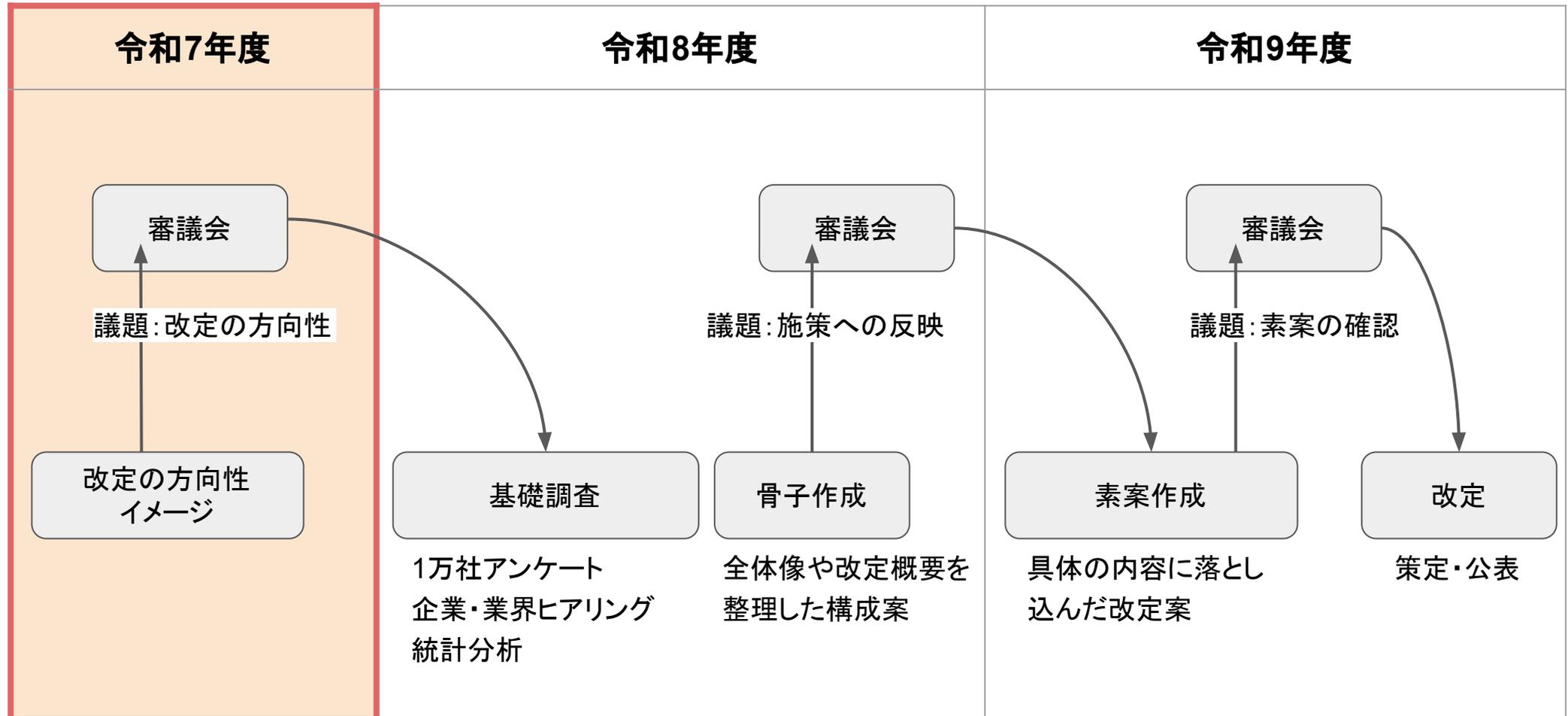


第2次札幌市産業振興ビジョンの 改定に向けた方向性について

第2次札幌市産業振興ビジョンの改定に向けた審議会関係のスケジュール(想定)

産業振興ビジョンについては、審議会での意見を反映させながら改定を進める想定。

今回(令和7年度)の審議会では改定の方向性に対するご意見をいただき、それを踏まえて令和8年度から実施する基礎調査や骨子作成に繋げる。



※必要に応じて追加で審議会を開催する場合があります。

第2次札幌市産業振興ビジョンの概要(再掲)

札幌市中小企業振興条例に基づき、2023年度から10年間の産業振興施策の方針を定める行政計画
雇用の場の確保と企業・就業者の収入増加を産業振興の目的に据える。対象は企業、経済団体、研究機関、市民、行政。
基本理念として「**持続可能な経営基盤と新たな活力で次へと繋ぐ ～Next City Sapporo～**」を掲げる。

第1編:ビジョン編(計画期間 10年)

産業振興の目的

基本理念

基本的な視点

施策展開の方向性

選択と集中 で経済成長の原動力を作る【重点分野】

○札幌を含めた北海道経済の成長を牽引する

「観光」「食」

○更なる成長により新たな強みとなる

「IT」「クリエイティブ」「健康福祉・医療」

全産業を高度化 させる共通の手法【横断的戦略】

「中小・小規模企業への支援」

「新たな企業や価値の創出」

「人材への支援」「持続可能な札幌経済の構築」

数値目標

人口1人当たり市内総生産 を430万円に引き上げ、
さらにGX等の推進により全国平均以上を目指す

第2編:施策編(計画期間5年)

リーディングプロジェクト

関連する施策群の相互連携による好循環を起こし、
持続可能な経済成長を実現する3つのプロジェクト

・交流人口増加の呼び水 となる

「スノーリゾートシティ SAPPORO」

「美食のまち・さっぽろ」

・イノベーションを創出 する

「スタートアップとコラボするまち SAPPORO」

Growth Factors

札幌経済の成長を促進させる取組

・GXの推進

・半導体産業の集積に向けた取組

基本施策

・今後5年間で実施する予定の主な施策

・各分野、戦略ごとの成果指標

短中期
内容

札幌市の最上位計画「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン
(計画期間10年)」に沿って策定

市長公約に沿って策定される、中期実施計画「アクションプ
ラン2023」の掲載事業と連動⇒ **5年間を目途に改定**

改定にあたって留意すべきと考えている視点

策定時に経済の成長を促進させる重要な取組と位置づけた「Growth Factors」に関連した進展に加え、「基本理念:持続可能な経営基盤と新たな活力で次へと繋ぐ」に関して特に変化のあった情勢に対し、【地元事業者の更なる発展に向けてどのような戦略を反映させるか】が改定にあたって留意すべきと考えている。

Growth Factors:GXの推進、半導体関連産業の集積に向けた取組

基本理念:持続可能な経営基盤と新たな活力で次へと繋ぐ

①GX金融・資産運用特区の選定

北海道・札幌市が「金融・資産運用特区」及び「国家戦略特区」に指定。北海道の国内随一の再生可能エネルギーのポテンシャルを背景に、世界中からGXに関する資金・人材・情報の集積するアジア・世界の「金融センター」の実現を目指している。環境整備が進み、これらを土台とした更なる金融機能の強化・集積により、道内のGXプロジェクトへの投資を呼び込むアクションの実行段階へ移行。

【改定に向けた論点】

・これらの動きを地域産業の振興にどのように繋げるか。

②半導体産業複合拠点の形成

次世代半導体の国産化を目指すRapidus(ラピダス)社の千歳市進出を契機として、道央圏における半導体の製造・研究・人材育成等が一体となった複合拠点の形成が進行。

【改定に向けた論点】

- ・半導体関連産業の特性を踏まえた札幌市の役割(研究開発、人材供給、生活拠点等)。
- ・設計、開発分野における市内産業振興の可能性と札幌市の役割。
- ・人材の道外流出が続く中での札幌市の人材育成や雇用のあり方。

①～③については、国家規模で動く投資を呼び込む動きを どのように地元経済に波及させるか、という観点が重要

【集積する資金や人材を地域へ還流させる】

【新たなビジネス機会を基幹産業の底上げにつなげる】

③AIの急速な浸透

国の総合経済対策で「危機管理投資」「成長投資」の中核にAIが位置づけられ、AI基本計画も閣議決定される中、生成AIをはじめとする新しいテクノロジーの社会実装が急速に進展。札幌市でも北海道と連携し、AI・GXのテストフィールドとして地域の課題解決と経済活性化につなげる取組や、AI・GX関連のスタートアップ等が集積する拠点整備に向けた検討を開始。

【改定に向けた論点】

- ・AIの急速な社会実装を市内の産業振興にどう繋げるか。
- ・テストフィールドの活用や拠点整備など、AI・GXの一体的な推進を通じた新産業の振興における、地域産業の関わり。

④継続的な物価の高騰

長引く物価高騰は企業経営に大きな影響を与えており、思うように価格転嫁できず、結果として諸経費の上昇を自社で吸収することを強いられ、利益率が低下し、賃上げや雇用、設備投資といった新たな投資を妨げている状況。

【改定に向けた論点】

・物価高騰が続く中、賃上げや設備投資を進めるにあたってのボトルネックをどのように持続的に解消するか。

④については、持続的な経営基盤の構築を どのように実現するか、という観点が重要

【生産性の向上により稼ぐ力を強化する】【生まれた収益を新たな投資(人的・資本的)に繋げる】【これらが循環する経営基盤の構築】